

# 一直線

学校教育目標

～自主的に考え、  
正しく行動できる生徒～

10月増刊号 狭山市立西中学校 学校だより

○挨拶 ○清掃 ○素直  
文責 校長 平沼 尚

## ○令和元年度全国学力・学習状況調査の結果(本校の概要)



### 1 概略

#### (1) 調査の目的

本調査は、全小中学校を対象にした調査であり、目的は「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」(実施要領より)です。

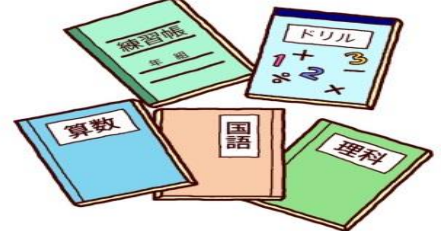
本校では、この趣旨に基づき、調査結果を踏まえ、教育計画等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導の充実に努めてまいります。さらに結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、児童生徒の学習状況の改善にご理解をいただき、今後も引き続き学校教育にご協力ご支援をいただきたく存じます。なお、この調査により測定できるのは、あくまでも生徒が身につけるべき学力の特定の一部であること、また学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

- (2) 実施月日 平成31年4月18日(木)
- (3) 実施学年 第3学年
- (4) 実施教科等 国語・数学・英語
- (5) 質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)



### 2 実施教科における全国・埼玉県の平均正答率

平均正答率	国語	数学	英語	英語(話すこと)
全国	72.8	59.8	56	30.8
埼玉県	73	59	56	
西中学校	66	54	53	20



### 3 実施教科における考察

#### 【国語】

- ・「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題があります。

#### 【数学】

- ・学習指導要領の領域では「数と式」に課題があります。「図形」では証明問題に課題があるが、三角形の合同条件や図形の凡例については理解している生徒が多い。

#### 【英語】

- ・「読むこと・書くこと・話すこと」に課題がある。



## ○令和元年度埼玉県学力・学習状況調査の結果(本校の概要)

### 1 概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、埼玉県の全小中学校を対象にした調査であり、目的は、「本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進すること」(実施要領より)です。

- (2) 実施月日 平成31年4月13日(木)
- (3) 実施学年 第1～3学年
- (4) 実施教科 第1学年：国語・数学 第2～3学年：国語・数学・英語
- (5) 質問紙調査 (学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)



## 2 実施教科における埼玉県・西中学校の平均正答率

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	数学	国語	数学	英語	国語	数学	英語
埼玉県	63, 3	59, 8	59, 3	59, 3	56, 3	53, 4	58, 2	55, 8
狭山市	62, 9	60, 7	59, 8	58, 9	56, 6	52, 6	59, 2	56, 5
西中学校	61, 9	60, 3	57, 7	60, 0	55, 5	49, 4	56, 6	51, 1

## 3 実施教科における考察

【1学年】国語は県の平均正答率をやや下回りました。数学は県平均を超えています。

(レベル 国語：7A 県8C 数学：7A 県7B)

【2学年】国語・英語の正答率は、県の平均正答率をやや下回っていますが、**数学は県平均を超えています**。学力は全体的に昨年度より伸びています。(昨年度とのレベルの比較 国語：7A→8B 県8B 数学：7B→8C 県8C 英語9C 県9C **概ね県平均と同レベルになりました。**)

【3学年】国語、数学・英語ともに県の平均正答率を下回りましたが、昨年度と比べると大きく学力が伸びています。(昨年度とのレベルの比較 国語：7A→8C→8B 県8A 数学：7C→7B→8B 県8B 英語：8B→9B 県10C)

### ○埼玉県学力・学習状況調査質問紙調査の結果と考察(抜粋)

生徒質問事項	西中	狭山市	県
時間を守る	98, 1%	97, 7%	97, 5%
身の回りの整理整頓をする	90, 9	89, 7	89, 1
進んで挨拶や返事をする	89, 5	85, 4	86, 8
丁寧な言葉遣い	94, 2	90, 3	90, 2
学習の決まりを守る	84, 2	81, 6	82, 0
集団の場での態度	95, 9	94, 3	94, 4
清掃にしっかりと取り組む	89, 5	86, 7	85, 6

#### 【考察】

・基本的な生活習慣に関する項目は、すべて県や狭山市の平均を上回っています。上記のとおり、「あいさつ」「返事」「丁寧な言葉遣い」「学習準備」「清掃への取組」等の項目が特に平均が高かった。これらの項目はすべて学力向上の基盤となるものです。きちんとした学校生活の継続が落ち着いた学校生活につながり、学習規律の定着や授業への真面目な取組が、学力の向上につながると考えます。子供たちの生活面での良いところを学校でも的確に評価し、さらに良いところを伸ばせるよう声掛けをしていくことで、子供たちのやる気を起こさせ、「学びに向かう力」に直結し、学力の向上の原動力にしていければと考えます。

#### 【学校として】

・学校としても、子供たちの更なる学力向上のために「やる気を起こさせる。」支援や授業改善に今後も取り組みます。

(令和元年度学校研究のテーマ：「知識・技能の習得と、これらを活用した思考力・判断力・表現力等の育成を目指した学習指導の工夫改善—主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して—」)

・学校では、教科の学習とともに、将来の夢や希望を育てる進路指導・キャリア教育にも、さらに力を入れていきたいと考えます。ご家庭でも、お子さんと「夢や目標」について語る機会を持つとともに、家庭学習の習慣化・充実に向けてご指導・ご協力をお願い致します。

・宿題についてはほとんどの生徒が、きちんと取り組んでいますが、自ら主体的に取り組む家庭学習の定着は今後の大きな課題だと捉えています。